

# 旭川機械工業株式会社

業種	製造業	事業所所在地	北海道旭川市	資本金	10,000千円
				従業員数	9名

	被承継者（左）			
	関山 憲充	69歳	※承継時	
	承継者（右）			
	関山 真教	44歳	※承継時	
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係		
2019年2月		子ども		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
完全受注生産による産業機械の設計・製作の販売		・新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等） 工場においても設備の非充実や老朽化などによって、従業員の作業が非効率になるとともに、生産年齢人口減少の中における人材採用にも影響が及んでいる。		

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
待っているだけの従来通りの事業だけではなく、自ら発信を行い、PR活動ができるような事業を行ってみたい。見込み生産型への移行や、自らの考え方を考えていかなければならない危機感があつた。	3年間の事業計画を立てて実施していくこと。	代表として約30年務めてきたこともあり取引先との関係性。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	取引先や金融関係ともスケジュール調整をおこなった。	従来の顧客はもちろん、新規の販路開拓を安定して行うことが出来るかどうか。

**これに一番苦労した！**

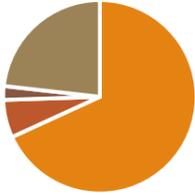
被承継者も約30年という期間にわたり代表取締役を務めてきたこともあり、社内・社外においても存在感が大きく、線を引くように急にすべてのことが変わらないので、被承継側と承継側も若干困惑した。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	金融機関への対応等助言をもらった。
いつから相談？	
承継実行の 3年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

# 新規事業における自社ブランドの確立及び生産性向上事業

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口減少・少子高齢化による需要の縮小や競争激化の中、中長期的な経営安定及び事業拡大を見込むためには新たな事業の柱をたてる必要があり、数年前から開発を行なった非対称の3次元加工が可能な3Dターニングマシン（CNC木工旋盤）のように自社ブランド製品としてPR活動を行ない、販売を行なっていく新たな製品の開発を検討していた。</li> <li>●2018年にコントロール皮ネード（とうもろこし自動皮むき機）を試作し、コントロール皮ネードを新たに当社の事業の柱として展開するため、事務所の集約化・見直し等による当社自身の生産性向上・人手不足対策を図る。</li> <li>●また、近年、当社の取組や工場見学のために増加している来客や商談の機会を逃してしまう大きな機会損失の原因であると考えていた事務所内部環境（トイレや衛生環境）も整備した。</li> <li>●中長期的な経営安定及び事業拡大を見据え、事業承継を契機として、新製品（とうもろこし自動皮むき機）を新たな事業の柱として確立するための販路拡大・新市場開拓を行うとともに、事務所の集約化・見直し等による生産性向上・人手不足対策を図ることによって、事業の活性化に繋げる。</li> </ul>	
	 

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
本事業により、弊社新製品「コントロール皮ネード（とうもろこしの自動皮むき機）」を3Dターニングマシン事業に続く弊社の主力製品として、販路拡大を目指す基盤をつくる事が出来たうえ、職場環境を改善することにより、新たな雇用促進に取り組む体制を整えることが出来た。日本国内はもとより海外への販売を強化して、地域経済に貢献したいと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設備費</li> <li>●広報費</li> <li>●外注費</li> <li>●廃業費</li> </ul> 
	<b>経費の主な使い道</b> 設備費（事務所内整備工事費） 広報費（展示会出展費、装飾費） 外注費（パンフレット作成費） 廃業費（事務所解体処分費）

認定経営革新等支援機関の名称：一般財団法人旭川産業創造プラザ			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
事業承継補助金の制度内容や申請に関わるアドバイスをいただいた。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	さらなる売り上げ増を目指すほか、コントロール皮ネード（とうもろこしの自動皮むき機）の海外販売を目指していく。新たな人材の確保と働き甲斐のある事業を行い、従業員が働きやすく、女性の雇用にも積極的に取り組んでいきたい。
売上高	33 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
弊社は、旭川市内で創業して72年になります。旭川で製造業を営み、私自身も約30年ほど前に父でもある創業社長より事業承継を受けました。事業承継を行った当時と現在では、社会経済環境は大きく様変わりをしてしまいましたが、ものづくりに取り組む姿勢を大切に地域経済とともに繁栄されることを心から願っております。	弊社は、1947年2月創業の鉄工所で私で3代目になります。創業は祖父でありましたが、創業当時より特殊な機械製造にチャレンジしてきました。昭和45年にはちくわの製造機で賞をいただくなど、世の中になかった機械をつくるそんな会社でした。これからもその精神を受け継ぎチャレンジ精神を失わず、新たな「ものづくり」にも積極的に取り組んで、地域貢献が出来ればと思っています。